

J R北海道キハ261系「北斗」のバリアフリー設備のご案内 (2022年3月12日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

キハ261系は、旧型特急車両の老朽取替のために製作された車両です。

2000年3月11日に就役した宗谷本線「宗谷」用の0番代と、2007年10月1日に就役した根室本線「おおぞら・とかち」および2017年3月4日に就役した函館本線「北斗」用の1000番代との2種類があります。

この文書では「北斗」用の1000番代についてご紹介します。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

2号車12番のA B席(有珠山側)とC D席(噴火湾側)が、車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げられるようになっていて、車いす固定用の設備もあります。また2号車13番A B C D席に相当する場所に車いすスペースがあります。但し一部の車両では2号車の12番ではなく、13番のA席とD席が車いす対応座席となっています(未調査)。

多目的室(次ページの配置図で「M」と表記)

1号車の札幌寄り(噴火湾側)にハンドル形電動車いす対応ではない構造のものがあります。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と表記)

2号車の函館寄りにベビーベッド(おむつ交換台)を設置したものがありますが、ハンドル形電動車いすには対応しておらず、またオストメイト対応設備もありません。

洗面所

設置されていません。

公衆電話、飲料自動販売機

いずれも2017年の就役当初から設置されていません。

受動喫煙の発生状況

「宗谷」用の0番台では2000年3月11日の就役当初は1号車と3号車のデッキに喫煙コーナーが設置されていましたが、2006年3月18日のダイヤ改正で全車完全禁煙となりました。

「おおぞら」「とかち」「北斗」用の1000番代では2007年10月1日の就役当初から全車両完全禁煙です。

乗車・調査の実施記録

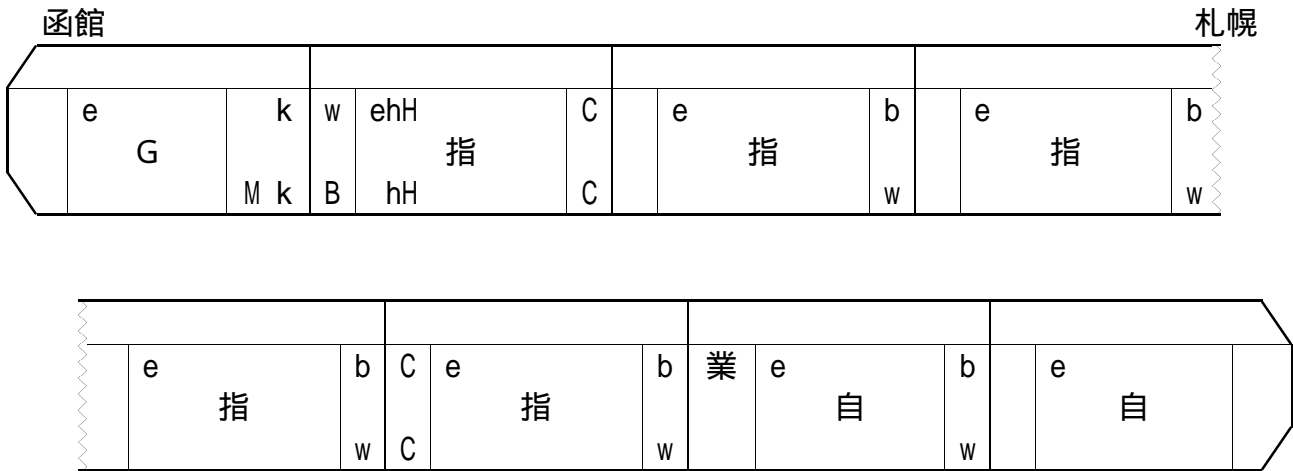
2022年6月8日(水曜日)

函館12時15分発札幌行き「北斗11号」(函館 新函館北斗間で自由席に乗車)

車両番号・1号車=キハ260-1124、2号車=キハ260-1124

(いずれも2022年・川崎重工製)

キハ261系の車内設備の配置図
 (下表は調査列車の編成、通常は 号車を抜いた5両編成で運転)



凡例

指 = 普通車指定席

G = グリーン席

H = 車いす対応座席

M = 多目的室

B = 車いす対応トイレ (ベビーベッド有)

b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド有)

w = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド無)

e = 非常停止ボタン (インターホン機能無)

k = 車内販売準備室 (現在は非営業)

細字 = 受動喫煙の無い清浄な空気の禁煙車

自 = 自由席

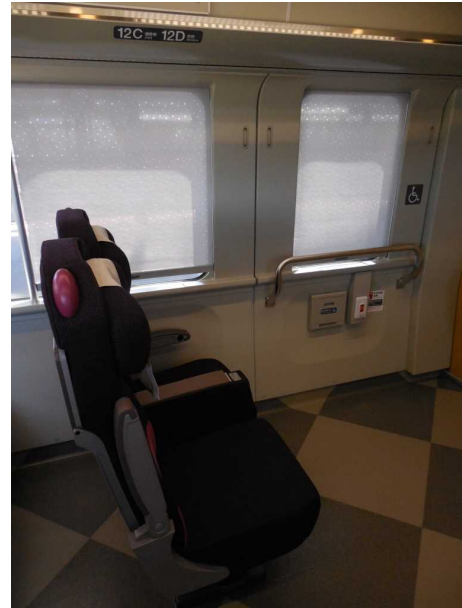
C = 車掌室

h = 車いすスペース

業 = 業務用室



キハ261系



キハ261系の車いす対応座席と車いすスペース
左がA B席、右がC D席



キハ261系の車いすスペース
窓の下に車いす固定ベルトと非常通報装置



キハ261系の車いす固定ベルトと
非常通報装置



キハ261系の多目的室



キハ261系の多目的室の案内掲示



キハ261系の多機能トイレ